

## 大学の世界展開力強化事業（平成 30 年度採択）中間評価結果

大学名	千葉大学
整理番号	AA01
事業名	COIL を使用した日米ユニーク・プログラム

### 大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

総括評価  <b>S</b>	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
コメント	
<p>本プログラムは、日本と米国双方の特長を活かし、COIL 型教育を活用して幅広い教育組織でプログラムを開講し、両国の学生に教育プログラムを提供するものであり、貴学においては全学部及び大学院を対象とする意欲的な取組を実施している。</p> <p>COIL 型教育システムを活用した新規プログラム開講数と受講学生数については、中間評価までに構築予定としていたプログラム想定数を上回っている。COIL 型教育の普及も企図した全学生必修の「国際日本学」が有効に作用し、幅広い教育組織の学生が受講しており、本プログラム受講者から多くの学生が海外留学していることは評価できる。また、新規開講された科目について、学生相互学習を目的に複数タイプに分類している点は新しい試みであり、今後は、各タイプに参加した学生の学習到達度を比較した結果を活用しながら、プログラム改善などに繋げていくことが期待できる。さらに、本プログラムが千葉大学の中期計画に「ネットワークの構築によるグローバル化」を推進する事業として位置付けられ、大学全体の取組として順調に推移しており、貴学が進める国際化の取組において、COIL 型事業を将来的に米国 4 大学のみならず、欧州の大学や貴学のバンコク・キャンパスにも拡大する予定であるとともに、日本国内においてはインターンシップ実施において連携している新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学及び熊本大学を含めた国立 6 大学での国際協働学修実施に向けた準備も意欲的に行われるなど、今後の発展が大いに期待できる。また、学生の派遣・受入に対するサポートも十分になされている。</p> <p>一方で、COIL 型教育プログラム受講生の外国語力向上に向けた取組と、米国の学生が日本のプログラムに参加した後、所属大学における成績評価及び単位認定について明確にすることが望まれる。また、園芸学部と海外相手大学との連携によるプログラム開講と、補助期間終了後も見据えた事業の自走化について、資金面も含めたさらなる検討が望まれる。</p> <p>最後に、今後も本プログラム終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け積極的なプログラム展開に取り組まれることを期待する。</p>	